

第11回 DAAS運営委員会

□日 時: 2009年9月16日(水) 午後2時～4時

□場 所: 財団法人建築行政情報センター 6階会議室

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂一丁目15番地 神楽坂1丁目ビル

TEL:03-5211-0568(DAAS事務局)

□議 事:

[承認事項]

議案1 総会議案及び理事会議案の提出資料(案) 確認と承認の件

ODAAS 年次総会議案

総会議案1 役員の選任

資料1 会員名簿

資料2 役員名簿(案)

総会議案2 第3期(2008-2009年度)事業報告及び収支決算について

資料3 第3期(2008-2009年度)事業報告(案)

資料4 第3期(2008-2009年度)収支決算(案)

監査報告

資料 5 監査報告書

総会議案3 第4期(2009-2010年度)事業計画及び収支予算について

資料 6 第4期(2009-2010年度)事業計画(案)

資料 7 第4期(2009-2010年度)収支予算(案)

総会議案4 規約及び会費等規定の変更について

資料 8 規約変更(案)及び会費等規程変更(案)

報 告

資料9 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第4期(2009-2010年度)総会

開催日時	2009年10月23日(金) 14:00~15:30
開催場所	慶應義塾大学三田キャンパス 東館6階 G-SEC Lab

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第4期(2009-2010年度)総会次第

開催日時:2009年10月23日(金) 14:00~15:30

開催場所:慶應義塾大学三田キャンパス 東館6階 G-SEC Lab

1 開会挨拶

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 理事長 槇 文彦

2 来賓挨拶

和泉 洋人 内閣官房地域活性化統合事務局長(予定)

3 議 事

議案1 役員の選任

資料1 会員名簿

資料2 役員名簿(案)

議案2 第3期(2008-2009年度)事業報告及び収支決算について

資料3 第3期(2008-2009年度)事業報告(案)

資料4 第3期(2008-2009年度)収支決算(案)

監査報告

資料5 監査報告書

議案3 第4期(2009-2010年度)事業計画及び収支予算について

資料6 第4期(2009-2010年度)事業計画(案)

資料7 第4期(2009-2010年度)収支予算(案)

議案4 規約及び会費等規定の変更について

資料8 規約変更(案)及び会費等規程変更(案)

4 報 告

資料9 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

5 閉 会

議案1 役員の選任

資料1 会員名簿

資料2 役員名簿(案)

建築・空間デジタルアーカイブス (DAAS)
コンソーシアム会員名簿

資料 1

2009 年 9 月現在

(順不同 敬称略)

槇 文彦 (建築家)
隈 研吾 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)
藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)
三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
出江 寛 (社団法人 日本建築家協会 会長)
山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)
樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
村重 芳雄 (五洋建設株式会社 取締役社長) ●
神原 裕一 (株式会社 奥村組 代表取締役副社長執行役員) ●
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
大田 弘 (株式会社 熊谷組 取締役社長) ●
名倉三喜男 (興和不動産株式会社 取締役社長)
永尾 眞 (前田建設工業株式会社 取締役常務執行役員 建築事業本部長) ●
割田 正雄 (清水建設株式会社 常務執行役員 設計・プロポーザル統括) ●
平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役 常務執行役員)
野呂 一幸 (大成建設株式会社 常務・設計本部長)
北 泰幸 (株式会社 竹中工務店 常務取締役) ●
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 東京本社 設計本部長)
尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 常務執行役員 建築設計本部長)
副島 伸一 (住友不動産株式会社 ビル管理部長)
長島 俊夫 (三菱地所株式会社 代表取締役 専務執行役員)
山田 幸夫 (株式会社 久米設計 代表取締役社長)
森 暢郎 (株式会社 山下設計 代表取締役社長)
岡 房信 (三井不動産株式会社 建設企画部長)
佐久間 一 (東京建物株式会社 代表取締役専務取締役 ビル事業本部長)
村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授) ※10/1 より
戎居 連太 (株式会社 連合設計社市谷建築事務所 代表取締役社長)
馬場 栄一 (株式会社 建築資料研究社 代表取締役)
能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)
木原 碩美 (社団法人 日本建築構造技術者協会 会長)
(財団法人 建築技術教育普及センター) 予定●
(社団法人 建築設備技術者協会) 予定●

(財団法人 ベターリビング) 予定●

●は 2009 年 9 月現在確認中

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
理事・監事名簿 (案)

(順不同 敬称略)

■理 事

榎 文彦 (建築家)
佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)
藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)
出江 寛 (社団法人 日本建築家協会 会長)
樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)
隈 研吾 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役 常務執行役員)
野呂 一幸 (大成建設株式会社 常務・設計本部長)
北 泰幸 (株式会社 竹中工務店 常務取締役)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 東京本社 設計本部長)
尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 常務執行役員 建築設計本部長)
山田 幸夫 (株式会社 久米設計 代表取締役社長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)

■監 事

三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
第3期・第4期 役員名簿

(順不同 敬称略)

■理事長

榎 文彦 (建築家)

■副理事長

佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)

藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)

■監 事

三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)

山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)

■理 事

出江 寛 (社団法人 日本建築家協会 会長)

樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)

立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)

隈 研吾 (建築家)

難波 和彦 (建築家)

古谷 誠章 (建築家)

六角 鬼丈 (建築家)

六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)

割田 正雄 (清水建設株式会社 常務執行役員 設計・プロポーザル統括)

平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役 常務執行役員)

野呂 一幸 (大成建設株式会社 常務・設計本部長)

北 泰幸 (株式会社 竹中工務店 常務取締役)

岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)

小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 東京本社 設計本部長)

尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 常務執行役員 建築設計本部長)

山田 幸夫 (株式会社 久米設計 代表取締役社長)

吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)

■顧 問

村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授)

和泉 洋人 (内閣官房地域活性化統合事務局長) ●

2009年9月改訂

●は2009年9月現在確認中

議案2 第3期(2008-2009年度)事業報告 及び収支決算について

資料3 第3期(2008-2009年度)事業報告(案)

資料4 第3期(2008-2009年度)収支決算(案)

監査報告

資料5 監査報告書

第3期(2008年10月～2009年9月)の活動について

2009年9月16日

DAAS運営委員長 三塩 達也

初秋の候、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

来月の総会における正式な報告に先立ち、今期(2008年10月～2009年9月)のこれまでの活動状況を報告させていただきます。

活動の中心となる顕彰作品の写真収蔵については、今期改めて中期的視点に立ち、UIA東京大会が開催される2011年までの5年間でDAASの「始動(初動)期」と位置づけ、第4期と第5期の2年間の成果目標を写真点数12,000点、建築作品3,000件と設定しました。そのために今期は、作品の諸元データを整備し、会員企業4社からサンプルを提供頂き、デジタル化に要する時間とコストの見込みを立てました。さらに、大口のコンテンツホルダーとの意見交換を行い、各団体の顕彰作品の収蔵に向けた具体的な道筋を付けることが活動の骨格となりました。

同時に、収蔵コンテンツの拡充と事業費の確保という両面から、国土交通省や関連団体の支援を受けて、国庫補助金による伝統的建造物や歴史的まちなみ、住宅団地や都市景観の保全や閲覧を目的としたデータ整備・リスト化を実施しました。さらに、Web画面の改善も進め、検索機能の充実や英訳化により海外からのアクセスも可能なWebへと進化しました。おかげさまで登録会員数約3,000人、閲覧者数は約7万人／年、アクセス数は約150万回／年に達しています。

事務局は、所在地を(財)ベタリービングに移すと共に、新たな事務局員の参加を得て事務業務の一部を委託するなど、事業拡大のための体制強化を図りました。事務局会議は昨期同様に毎月開催され、国庫補助金事業と顕彰作品の収蔵事業を同時に進めています。また法人化に向けた準備の一環として、内部規定の整備や事務局体制などの明文化なども進めています。

第2期からスタートした建築家のインタビュー動画の収録については、古谷誠章氏、池田武邦氏の撮影は終了、両氏の映像は現在ウェブ掲載に向けて編集中です。これで、6名の動画が収録できました。学生に訴求するイベントとして募集している卒業設計のデジタルプレゼンテーションについても、評者を六角鬼丈理事にお願いした講評会の様子が、動画でご覧頂けます。

これらの活動の他、今年8月、日本建築学会「歴史的建築リスト整備活用小委員会」が主催する研究協議会の冊子「資料編」でDAASが紹介され、会員団体である(社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築士会連合会及び(社)日本建築家協会の全国大会等においても、シンポジウムへの参加、ウェブのデモ、展示パネルによる収蔵作品の紹介等を行いました。DAASの認知は、少しずつですが確実に進んだと考えております。

今後、さらに会員を増やすことで事業の安定的実施環境を整えることはもちろんですが、長期的視野に立つと、高いデジタル技術を持つ建築系の学生を刺激し、本活動に対する将来の良き理解者となってもらふ必要を感じています。また多様な建築ファンをターゲットに新たな試みとしては、KITアーカイブスとの連携により、アーカイブスの可能性と広がり追求した活動をスタートさせます。日本で唯一の建築デジタルアーカイブスとして、日本が誇る建築文化の情報発信のためにも、その存在価値、利用価値を高めていきたいと考えております。

会員皆様方におかれましては、そのための積極的なご協力と建設的なご意見を、今まで以上に事務局へお寄せ下さいますようお願いいたします。

第 3 期（2008-2009 年度）事業報告(案)

1. 概要

設立以降「活動の基盤となる資料収蔵事業の拡大」「運営・実施を行う事務局体制の整備」「事業の成果を発信する Web サイトの維持と拡張」を継続的に実施。

第 3 期は団体会員が実施する表彰事業の受賞作品を収蔵する活動を軸として進め、収蔵基準の設定、大手設計事務所 4 社の協力による写真・図面収集の試験的な実施、関連資料を保有する企業に対する協力要請など、収蔵資料の拡大に関する活動が大部分を占めた。その結果、主要な表彰事業における受賞作品 1700 件分の諸元・データのリストと、新たに写真・図面・動画を合わせて約 500 点を収蔵（未公開分を含む）。

並行して、DAAS の特徴である「デジタルデータに特化したオープンなアーカイブ」を活かす取り組みとして、全国の物理収蔵を主とするアーカイブとの連携した情報発信と資料収蔵に関するアライアンスの締結を進めた。これにより資料提供者に対して物理収蔵とレプリカ収蔵の双方をサービスとして提供できる他、既存のアーカイブに収蔵されている資料について DAAS がインターネットを通じた情報発信が可能となった。これらの他、継続的な資料収蔵を目指した個人写真家や写真家協会との意見交換や、Web サイトのアクセス数増加と会員拡大を目指した広報事業も進めた。

本活動の第 5 期にあたる 2011 年に東京で開催される「UIA2011 TOKYO」を対象とする中期事業計画を策定。この計画を効果的に推進するため、新たに国土交通省及び関連団体の支援を得られることとなった。

2. 事業報告

(1) 法人化の準備と事務局体制の整備

法人格取得に向け、事務実施効率の高い委託先を事務局及び運営委員会にて検討した結果、第 3 期後期より（財）ベターリビングに必要な事務業務を委託すると共に、人員強化、指示系統の明確化を行い、各事業を進める体制を整備した。また、円滑な運営と事業の執行を目的とした部会を設置し、企画立案・執行機能を運営委員会より委嘱した。（添付資料 3-1）

(2) 事業費の確保

収蔵データ利用申込み 2 件・14 資料（参考：オーストリア大使館 日澳交流年記念論文集 TOT0 出版 村野藤吾建築案内）

会員拡大のための広報事業として会員団体の全国大会への参加や、大手設計事務所懇談会での活動説明などを行った。併せて、設備、構造関連の団体へ入会依頼を行い、第 4 期に入り、2 団体の入会申し込みがあり、更に 3 団体の入会を予定している。また、国交省主要財団である（財）建築技術教育普及センターより資料収蔵の活動が集中する予定の当面 2 年の費用支援、（財）ベターリビングには事業拡大のための役務負担を依頼し、了承された。

(3) 基本システムの運営・管理

DAAS が保持するコンテンツを収蔵する基本システムの運営と管理は、学会会員である慶應義塾大学の村井研究室が実施している。システム運営と管理の主だった業務は、1) 継続的なサービス提供（インターネット接続性の確保、サーバの継続的な可用性の確保など）、2) 収蔵データの分散管理とバックアップの作成、3) DAAS Web システムの不具合に対する修正、4) システムの基本ソフトウェアおよびアプリケーションソフトウェアの更新、の4点である。

また、利用者数の変化、利用状況のレポート、システム運営で得られた課題や改善案など、事業成果に対するフィードバックも同様に受けている。

この一年間、対外的に影響のあるサービス停止やセキュリティリスクを伴う問題は発生していない。年に一度実施される電気設備の法定点検時（毎年12月に実施）は事前に Web サイト上で告知の上、当該時間においても、可能な限りサービス停止を示す Web ページを表示している。

(4) コンテンツの整備

第3期におけるコンテンツ収蔵は、団体会員が実施している表彰事業を対象とし、受賞した作品（建築物、まちなみ、景観等）約1700件を、過去に遡ってリスト化した。リスト化した作品のうち、企業会員である大手設計事務所4社の協力により、社有資料の一部をケーススタディとしてデジタル化および補正作業を実施し、約200点の写真・図面資料を収蔵した。また、その過程で、関連資料、主に写真を多く保有している企業（株式会社エスエス東京、新建築社等）に対して、建築家・設計事務所・施工業者等からの依頼に応じた保有資料のデジタル化と一部公開を一つのワークフローとして定義し、個々の権利処理や対応を軽減する協力を依頼し、理解を求めてきた。

また、インタビュービデオの作成も先期に引き続き実施した。今期からは、運営委員会より委嘱を受けたビデオ部会が、その企画から実施までを行った。

①写真撮影会社への収蔵依頼

建築写真大手の株式会社エスエス東京が、表彰受賞作品の DAAS 収蔵に係る大手設計事務所4社のケーススタディにおいて、多くの写真資料を保有していたことから写真提供の趣旨について DAAS 事務局より説明に伺った。これを期に表彰作品の資料収蔵の了解を得、早期のデータ回収が期待できることとなった。同様に元収蔵作品の権利者である新建築社についても、新規収蔵についての提案を行い、了承を得ることができた。

②各団体の表彰物件のデータ収蔵

2008年度事業（2009年3月迄）として表彰物件のリスト作成と会員企業である大手設計事務所4社の対象作品の褪色補正、図面資料のデジタル化トライアルを実施した。2009年度事業となる2009年4月からは、リストの精査、各権利者への資料提

供依頼の連絡など収蔵の準備を開始した。(添付資料3-2)

③動画収録

第3期は、運営委員会で承認を受けたビデオ部会（ワーキンググループ）が中心となって動画収録事業を推進した。

まず、本事業を推進する前段階として、運営委員会で笹委員より検討をご提案いただいた「収録対象やその内容に関する基準（パースペクティブ）」の検討を行った。

(添付資料3-3 上図)

この基準に基づき、今期の収録対象者として池田武邦氏と内田祥哉氏を挙げ、先期に予定していた古谷誠章氏と合わせて収録作業を進めた。3名のうち、難波氏と池田氏は収録および編集を終え、今期中にウェブへ掲載予定である。また、内田氏は収録打ち合わせを行い、2009年11月以降に撮影することが決定している。この他、部会内の議論で、有馬委員より希少性の高い動画を会員向けに配布する提案があり、パッケージを装丁デザイナーの秋山伸氏に依頼して、配布版DVDを作成した。

今後、収録する動画やウェブサイトで公開済みの動画についても順次作成していく。

(添付資料3-3 下図)

④建築史家等による収蔵作品の解説等の掲載

第2期途中より、利用者に向けた継続的な情報発信を目的として、DAASに収蔵されている建築資料ならびに関連資料を題材としたコラム記事を掲載。公開当初より掲載されていた「おでかけだーす」に加え、建築史家が順々に執筆者を紹介するリレーブログ形式と、企画連載として60～70年代の建築を独自の観点で紹介するコラム形式の2本を実施。しかし実際には、継続的な執筆者の確保の難しさ（ご紹介頂いても、多忙を理由に断られる等）、または執筆者の準備期間の不足（テーマに沿った資料収集が容易でない等）など、連載を維持・継続できる十分な状況を作り出すことができないまま、第3期を終えることとなった。この反省を踏まえ、次期に生かすべく運用方法を検討する。

⑤第3回デジタル卒業設計大賞の実施

第2期より引き続き、デジタル卒業設計大賞を実施した。第3期より募集要項の見直しをし、Webサイトで閲覧可能な作品という条件を追加した。この要項の変更により、建築・空間の表現において高いデジタル技術が必要となり、卒業設計そのものの表現への要求が高まったことから、結果として作品総数が昨年度の半分となった。しかしながら、コンペの質の向上という意味において、建築作品としての評価だけでなくデジタルの様々な表現手法についての評価という軸を設けたことで、デジタルの特性を生かすコンペとして今後も継続して開催する価値が高まったといえよう。(添付資料3-4)

⑥国土交通省補助事業の活用によるコンテンツ整備

発足時より目標としていた建築単体のみならず、歴史的まちなみ、住宅団地、さらにアーバンデザインなどの成果、景観的に重要なシーンについての記録のデジタル化を課題とし、これらの案件のリスト作成を実施した。(添付資料3-5)

⑦資料提供者及び閲覧者の参加によるコンテンツの充実

資料提供者および閲覧者参加によるコンテンツの充実について、システムの拡張とWebサイトのデザイン変更を、デザイナー、Webクリエイター、システムプログラマーと共に実施してきた。

その結果、DAAS Web サイト全体のリニューアル(10月中)に合わせ、資料提供者による新たな資料の掲載や更新ができる機能が追加される予定である。また、閲覧者がそれぞれの資料に対してメモやコメントを記載できる「My DAAS」機能を拡張させ、資料の真生性や建物の現存、危機、消失などの状態が反映できるようになる予定である。

(5) Web サイトの改善

現状のWebサイトは、収蔵資料以外の増減や更新を想定していないため、その更新作業は非常に煩雑であった。今日のDAAS Web サイトは、若手建築史家やコラムなど、頻繁に更新されるページが存在するため、この点を改善するためにCMS(Content Management System)を組み込んでリニューアルを実施している。トップページおよび資料表示など主だったページのデザインを装丁デザイナーの秋山伸氏に依頼し、DAASの特徴である「写真やビデオなどの画像・映像資料が豊富にあるサイト」を全面に押し出した外観にリニューアルされた。また、既に英訳化されていたページを、CMS上で管理することで、新たなページが出来た場合でも、同時並行的に英訳ページの生成が行えるなど、既存の素材をよく活かせるようになった。(添付資料3-6)

(6) DAAS の広報

DAAS 会員団体である(社) 日本建築士会連合会、(社) 建築士事務所協会連合会、(社) 日本建築家協会の全国大会での展示およびウェブコンテンツのデモンストレーションを行った。

また、(社) 日本建築学会東北大会でのDAASの紹介記事の掲載(2009年8月)、建築士会連合会主催の「優良な住宅・建築・まちなみ及びその記録の保全に関する懇談会」会場内での資料展示(2009年3月)を行った。(後掲)

(7) 実空間展示等の企画立案

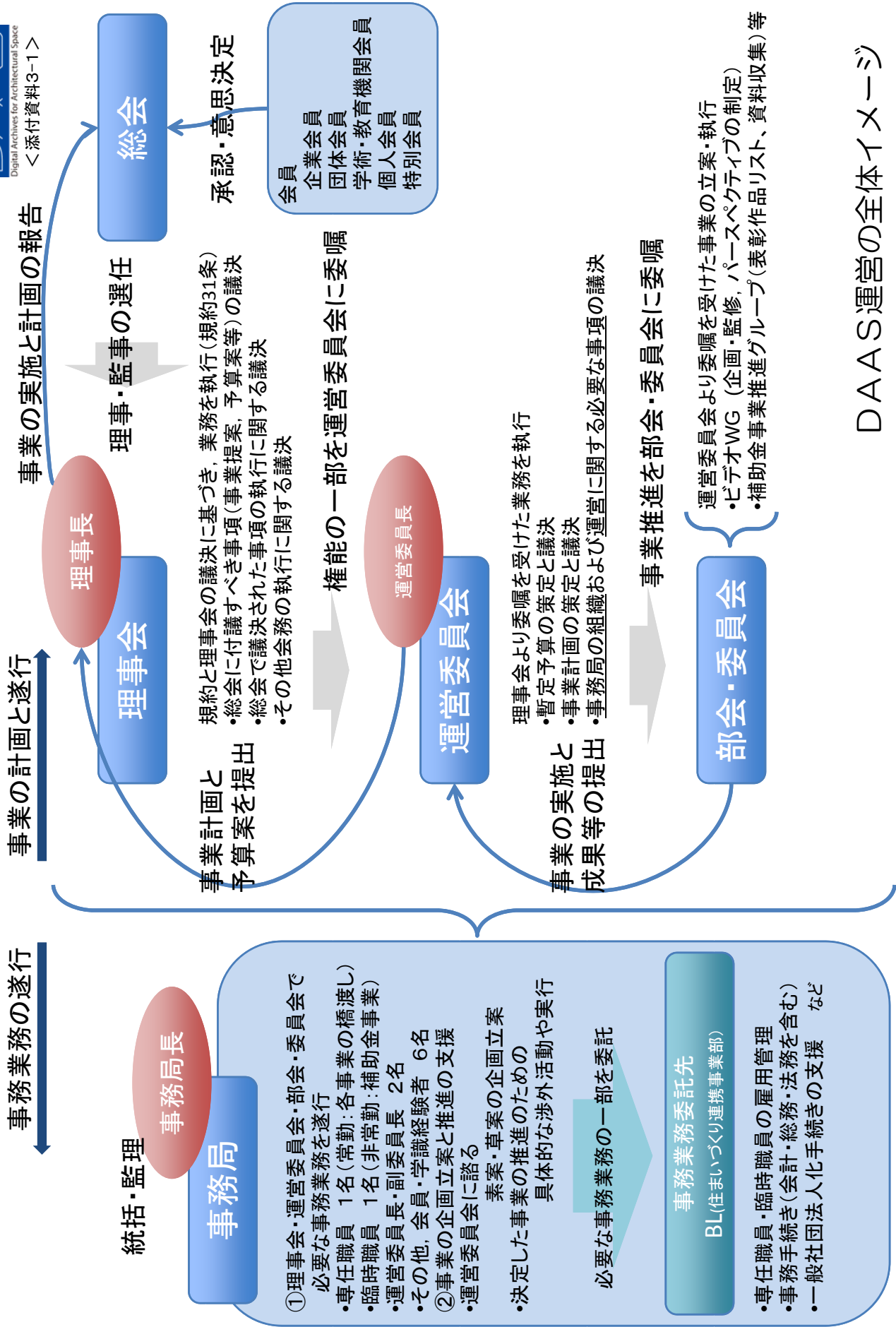
平成21年3月25日に国際文化会館で行われた(社) 建築士会連合会主催の「優良な住宅・建築・街並み及びその記録の保全に関する懇談会」会場内において、保存すべき建築作品資料としてDAASで収蔵している写真資料を展示した。

(8) その他：オープン・アーカイブス・アライアンス（仮称）設立

これまで、数々の著名建築家や作品に関して現物資料を保全するアーカイブが設立されてきた。しかし、その活動の多くは閉じた活動であり、どのような資料が存在するのか、あるいはどのようにしてアクセスすればよいのか、と言った情報が開示されていないことが多く、価値のある資料であってもデッドストックとなっているケースが散見されていた。

デジタル化した建築や空間に関する資料を扱う世界初のデジタルアーカイブであるDAASは、デジタル化技術を用いることで現物資料のレプリカを生成し、検索対象としてそれらを発信することができることから、既存アーカイブに対して「索引とカタログ」機能を提供することで、双方の資料をデッドストックからライブストックにできる可能性を持っている。

このような経緯から、DAASとJIA-KITアーカイヴスおよび金沢工業大学建築アーカイヴス研究所が主導して、現物とレプリカを組み合わせた総合的な資料保全を実施すると共に、その連携母体として「オープン・アーカイヴス・アライアンス」(Open Archives Alliance) を設立する方向で調整を進めている。このアライアンスは、国内外のアーカイヴスに対して活動の輪を広げていくことで、点在化していたアーカイヴスおよび高い価値を持つ資料に対する複数の導線を提供し、アーカイヴスの存在を「点から面」に変化させることを目指す。このことは、社会に対して過去の建築文化を受け止め、未来に継承していく責任を果たすものであり、一組織や一個人だけでは不可能な総覧性と網羅性を高める大きな一歩であると考えている。



DAAS運営の全体イメージ

2009 年 9 月 16 日

DAAS 事務局

優良住宅・建築物記録の作成事業報告

社団法人建築士会連合会の平成 20 年度（2009 年 3 月末日まで）事業として「建築・街並み及びその記録の保全に関する調査事業」を受託した。調査内容としては、建築関係団体の各表彰事業等において評価を得た住宅・建築物の写真及びデジタル記録の作成と、インターネットで公開することを前提としたデータベースの構築を実施した。

1. 住宅・建築物の表彰事業における過去の記録の整理

作業報告

建築 5 団体、（社）日本建築学会、（社）日本建築士会連合会、（社）日本建築士事務所協会連合会、（社）日本建築家協会、（社）建築業協会の各表彰事業において評価を得た建築作品の過去の記録を整理しリスト化を実施した。さらに各受賞建築作品に関する詳細情報記録を作成。建築詳細情報については DAAS にて諸元情報項目を決めデータ整備を行った。

（i）対照となる表彰事業及び件数

（a）社団法人 日本建築士事務所協会連合会

期 間：第 1 回（1985 年）表彰より第 24 回（2008 年）

表 彰 名：建設大臣賞、国土交通大臣賞、日事連会長賞 等

作品件数：269 件

（b）社団法人 日本建築家協会

期 間：1989 年表彰より 2008 年表彰まで

表 彰 名：JIA 新人賞、JIA25 年賞、環境建築賞、日本建築大賞、日本建築家協会賞

作品件数：189 件

（c）社団法人 日本建築学会

期 間：日本建築学会賞第 1 回（1949 年）表彰より第 60 回（2008 年）表彰まで

表 彰 名：日本建築学会賞、及び作品選奨

作品件数：304 件

（d）社団法人 建築業協会

期 間：第1回（1960年）表彰より第49回（2008年）表彰まで

表 彰 名：BCS賞、及びBCS賞特別賞

作品件数：781件

(e) 社団法人 日本建築士会連合会

期 間：1986年表彰より2008年表彰まで

表 彰 名：日本建築士会連合会賞優秀賞、奨励賞、特別賞

作品件数：173件

5 団体表彰建築作品合計：1716 件

(ii) 作業方法

各種表彰事業の建築詳細情報（所在地・諸元等の情報）をインターネット、図書等で調査し、リスト化。入力後の抜け項目、誤字脱字等の確認作業を行い、より正確な情報の収集を行った。特に建築物の所在地については全ての建築物において完全な住所情報の収集を目指し作業を実施。また、今後関連資料の利用許諾の確認を進める上でファーストコンタクトとして不可欠な、設計者・設計事務所のコンタクト情報（名前、住所、電話番号、メールアドレス等）の収集も併せて実施した。

2. 褪色補正し、デジタル保全をした建築資料の報告

作業報告

前述の受賞建築作品のうち、DAAS 会員である大手設計事務所4社（日建設計、山下設計、久米設計、日本設計）の作品を対象にデジタル化保全のケーススタディを行った。

(i) 実施方法

各社運営委員に資料保全の趣旨説明を行い、ウェブ収蔵についての意見、また、公開の権利に関する状況のヒアリングを行った。それにより各社デジタル化を進めたい受賞作品を4点、関連資料として各10点を目安に資料提出と、作品情報、受賞情報の作成を依頼。DAASにて資料を受領後、写真資料等についてはデジタル化と補正（褪色、及び傷・汚れ補正）を実施。高精彩画像・XGA・QVGA・サムネイルの4種のデータを作成。

(ii) 各社提出資料内容

(a) 株式会社 日本設計 表彰作品

アクロス福岡

マブチモーター本社棟

新宿三井ビル

日本橋三井タワー

(b) 株式会社 山下設計 表彰作品

インペリアルタワー

NHK放送センター

霞が関ビルディング

白百合女子大学3号館

紀尾井ホール

(c) 株式会社 久米設計 表彰作品

恵比寿ガーデンプレイス

エムウェーブ（長野オリンピック記念アリーナ）

久米設計本社ビル

北上市文化交流センター さくらホール

軽井沢万平ホテル 本館アルプス館

(d) 株式会社 日建設計 表彰作品

ポーラ美術館

東京ミッドタウン

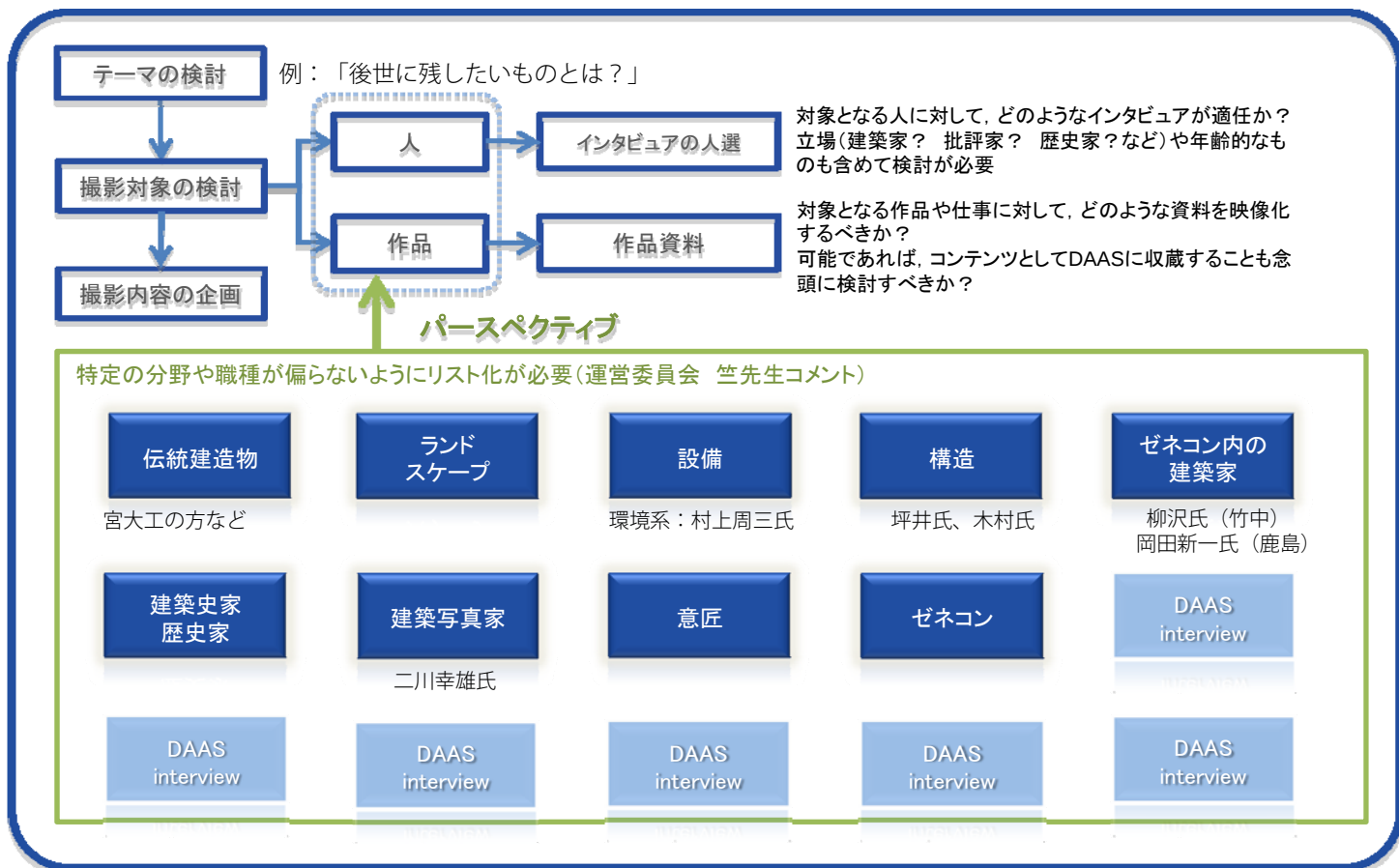
熊本県こども総合療育センター

高根町立しらかば保育園

高根町みのるの里特別養護老人ホーム

龍谷大学大宮図書館

DAASビデオ企画とパースペクティブ



DAASビデオ DVD装丁 デザイン



〈添付資料3－4〉

2009年3月13日

DAAS事務局

デジタル卒業設計大賞 2008 懇親会報告

昨年度の提出条件や審査基準の問題点を改善し、本年度のデジタル卒業設計大賞では「インターネット上で閲覧可能にした作品」での提出という条件を追加し、また、審査については「卒業設計で制作した建築に関する評価」「Web サイト上で利用可能なデジタル化による様々な表現手法に関する評価」の二つの観点より行うこととしました。募集要項の変更に影響されたためか、応募作品総数は昨年度の半数以下の14件となりましたが、そのうち5名を入賞者とし、東京芸術大学での懇親会に招待をいたしました。懇親会は入選者によるプレゼンテーションと、六角鬼丈氏の作品講評が行われ、入賞者全員に賞状の授与を、また、入賞作品の中から「六角賞」「優秀Web表現賞」それぞれ1点を選出して、副賞を授与いたしました。

現在 DAAS ウェブにて入選作5作品を公開しています。懇親会の模様については、後日ビデオ映像として公開する予定です。

「デジタル卒業設計大賞 2008」懇親会実施概要

会 場： 東京芸術大学美術学部長室

日 時： 2009年2月2日 14:00から16:00

審査員： 六角鬼丈先生（DAAS 理事・建築家・東京芸術大学美術学部長）

アドバイザー： 楨文彦先生（DAAS 理事長・建築家）

入賞者： 込山絵美（京都造形芸術大学）「casket of Architecture」

土田純寛（武蔵野工業大学）「空にひらいた小学校」

工藤浩平（東京電機大学）「パレットケース」

六角賞

笠川由美（京都造形芸術大学）「神戸市灘区 JR 貨物線跡地プロジェクト」

小坂宗義（金沢工業大学）「陰翳空間と美術館」

優秀Web表現賞

DAAS デジタル卒業設計大賞2009について

2009 年 7 月 1 日

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)

デジタル卒業設計大賞 2009 実行委員会

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS) は、これからの建築界で活躍が期待される若い学生・建築家・デザイナーの卒業制作作品を対象とした「デジタル卒業設計大賞2009」を開催いたします。

本大賞は、デジタル化した建築資料の積極的な公開と活用によって建築文化の浸透と発展を目指すDAASの活動の一環として開催されます。「自由な発想とデジタル技術を駆使して、自身の卒業設計を表現すること」を目的とし、建築作品としてだけではなくインターネットを通じた表現として合わせて評価を行う特徴ある表彰イベントです。

第3回目となる「デジタル卒業設計大賞2009」は、選考委員としてDAAS 理事であり建築家の難波和彦先生をお招きしています。

応募方法

本大賞に関わる応募・審査・通知は全てWWW (World Wide Web)上で行います。応募はDAAS Web サイト(<https://www.daas.jp/>)のトップページに掲載される「DAASデジタル卒業設計大賞 応募フォーム」より必要事項を登録します。応募受付期間は、**2009年7月1日(水)**から**2009年10月31日(土)**までとします。

選考委員

難波和彦

(建築家・東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授・DAAS 理事)

DAAS 運営委員

アドバイザー

楨 文彦 (建築家・DAAS理事)

全国の保全候補建築・まちなみリスト

〈添付資料 3-5〉

●は未収録

(1) 建築団体表彰

- 1) 建築学会作品賞(1949年創設)
- 2) 日本建築家協会
 - I 日本建築大賞(2005年創設)
 - II JIA 新人賞(1989年創設)
 - III JIA 環境建築賞(2000年創設)
 - V JIA25年賞(1997年創設)
- 3) 日本建築士会連合会賞(1986年創設)
- 4) 日本建築士事務所協会連合会賞(1976年創設)
- 5) BCS 賞(建築業会賞・1960年創設)
- 6) 都市計画学会賞 計画・設計関連(1959年創設)
- 7) 建築学会賞業績賞(1937～)

(2) 団地・街並みリスト

- 1) うつくしい町並み大賞・(財)都市づくりパブリックセンター(1991～)
都市景観100選(1991～2000年)
- 2) 「団地100」・UR 技術・コスト管理室 設計計画チーム刊 2007
- 3) 日本の住宅地・住宅生産振興財団(1980～)

(3) 国指定・登録文化財

- 1) 重要文化財(近代／建造物) 192件316棟
- 2) 重要伝統的建造物群保存地区 83件
- 3) 重要文化的景観 11件
- 4) 国指定登録有形文化財 7250件(平成21年1月1日現在)●

(4) 景観法に基づく景観地区 23件

(5) 建築学会 保存要望書リスト

(6) 文献として出版されている主要リスト

- 1) 近代建築総覧 村松貞次郎編 技法堂出版 1980年刊●
- 2) 主要建造物年表(保存版) (財)東京建設業協会 平成元年刊●

Search

キーワード
 検索

竣工年
1990 - 1990 検索

地図検索


カテゴリー
住居施設

表彰事業
住居施設



財団法人日本心臓血管圧研究振興会付属 榊原記念病院
東京都渋谷区代々木2-5-2 | 東海工業

検索トップ画面

1980 - 1987

竣工年
1990 - 1990 検索 クリア

1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

< >

1980









00027994 00027994 00027994 00027994 00027994 00027994 00027994

Information

No. 00027994

Architecture 雑創の森学園 そよざ幼稚園・プレースクール

Architects 山田太郎建築設計事務所

Architect 山田太郎

Constructor 竹中工務店

Site 京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空

Condition 現存

DETAIL >



東京都	
00027994	維創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
00027994	武蔵野美術大学美術資料図書館
00027994	国民宿舎鶴の岬遊泳プール
00027994	大樹寺収蔵庫
00027994	渋谷金鳳産業東京支店
00027994	三和ビル
00027994	京都銀行協会銀行会館
00027994	鹿島建設本社ビル
00027994	維創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
00027994	武蔵野美術大学美術資料図書館
00027994	国民宿舎鶴の岬遊泳プール
00027994	大樹寺収蔵庫
00027994	渋谷金鳳産業東京支店
00027994	三和ビル
00027994	京都銀行協会銀行会館

地図検索トップ

東京都の建物一覧

< LIST



	00027994 鹿島建設本社ビル 東京都港区赤坂 鹿島建設
	00027164 武蔵野美術大学美術資料図書館 東京都小平市小川町1-736 大成建設東京支店
	00027150 国民宿舎鶴の岬遊泳プール 茨城県多賀郡十王町伊勢浜 秋山工務店
	00027150 大樹寺収蔵庫 愛知県岡崎市鶴岡町大樹寺 境内 三和建設
	00027872 渋谷金鳳産業東京支店 東京都練馬区豊玉2-3-11 清水建設

近隣建築の地図検索による表示

Search

団体	年	表彰事業
住居施設	1990	住居施設

Option

地域	カテゴリー	竣工年
---	住居施設	1990 - 1990
検索		

Results

— 表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。

- | | | | |
|--|---|---|--|
|  <p>00027994
鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設</p> |  <p>00027164
武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店</p> |  <p>00027150
国民宿舎鶴の岬遊泳プール
茨城県多賀郡十王町伊師浜
秋山工務店</p> |  <p>00027150
大樹寺収蔵庫
愛知県岡崎市鶴田町大樹寺境内
三和建設</p> |
|  <p>00027872
渋谷金属産業東京支店
東京都練馬区豊玉2-3-11
清水建設</p> |  <p>00027994
雑司の森学園 そよかぜ幼稚園・プレイス...
京都府福喜郡田辺町大字大住小字虚空
竹中工務店</p> |  <p>00027164
三和ビル
熊本県菊池市隈府775
三和建設</p> |  <p>00027150
京都銀行協会銀行会館
京都府京都市中京区河原町二条下ル一の船入町535の2
竹中工務店</p> |
|  <p>00027872
武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店</p> |  <p>00027994
鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設</p> |  <p>00027164
武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店</p> | |

< PREV

1 2 3 4 5 6 7

NEXT >

表彰作品検索画面

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム
第3期(2008-2009年度) 収支予算 執行案
2008年10月1日から 2009年9月30日まで

資料4

科目	予算額(A)	2009.8.11現在 執行額(B)	差異
I 事業活動収支の部			
事業活動収入			0
1 会費・入金収入	10,890,000	10,890,000	0
企業会員	9,660,000	9,660,000	0
団体会員	1,200,000	1,200,000	0
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2 事業収入	9,550,000	9,510,000	40,000
記録作成業務受託収入	9,000,000	9,000,000	0
情報提供事業業務受託収入	500,000	500,000	0
コンテンツ有償利用料	50,000	10,000	40,000
3 その他収入	0	5,354	▲ 5,354
受取利息	0	5,354	▲ 5,354
雑収入	0	0	0
事業活動収入計	20,440,000	20,405,354	34,646
事業活動支出			0
1 事業費支出	12,200,000	13,427,197	▲ 1,227,197
WEBサイト改修委託支出	4,000,000	6,500,000	▲ 2,500,000
イベント事業支出	1,000,000	687,484	312,516
コンテンツ整備事業支出	5,500,000	4,539,713	960,287
保守費支出	1,700,000	1,700,000	0
2 管理費支出	9,880,000	2,620,716	7,259,284
事務局委託費(含人件費)支出	8,700,000	2,350,000	6,350,000
旅費交通費支出	250,000	168,000	82,000
機材費支出	200,000	0	200,000
通信運搬費支出	100,000	23,470	76,530
雑費・消耗品費支出	310,000	40,076	269,924
会議費(含総会)支出	100,000	38,170	61,830
会計士外部委託費支出	150,000	0	150,000
租税公課支出	70,000	1,000	69,000
事業活動支出計	22,080,000	16,047,913	6,032,087
事業活動収支差額	▲ 1,640,000	4,357,441	▲ 5,997,441
II 投資活動収支の部			0
投資活動収入			0
修繕引当預金取崩収入	1,700,000		1,700,000
投資活動収入計	1,700,000	0	1,700,000
投資活動支出			0
修繕引当預金取得支出	3,700,000	3,700,000	0
投資活動支出計	3,700,000	3,700,000	0
投資活動収支差額	▲ 2,000,000	▲ 3,700,000	1,700,000
III 財務活動収支の部			0
財務活動収支差額	0		0
IV 予備費支出			0
予備費支出	433,131		433,131
当期収支差額	▲ 4,073,131	657,441	▲ 4,730,572
前期繰越収支差額	4,073,131	4,073,131	0
次期繰越収支差額	0	4,730,572	▲ 4,730,572

注)この予算書は消費税込みで計算しております

監 査 報 告 書

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第 15 条第 4 項の規定に基づき、建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアムの第 3 期(2008-2009 年度)(2008 年 10 月 1 日から 2009 年 9 月 30 日まで)の業務報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った結果、正確かつ適正であることを認めます

2009 年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事
社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長
三栖 邦博 印

2009 年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事
社団法人 建築業協会 会長
山内 隆司 印

議案3 第4期(2009-2010年度)事業計画 及び収支予算について

資料6 第4期(2009-2010年度)事業計画(案)

資料7 第4期(2009-2010年度)収支予算(案)

第 4 期(2009-2010 年度)事業計画(案)

1. 基本方針

本活動の中期事業計画を定め、第 5 期にあたる 2011 年に東京で開催される「UIA2011 TOKYO」を一つの区切りと位置づけ、国内で公に評価された建築・街並み・景観の資料を収蔵する目標を設定する。この計画を効果的に推進するため、第 4 期から2カ年の予定で新たに国土交通省及び関連団体の支援を依頼する。第 3 期からの事業である表彰作品のデータ整理と資料収蔵、アライアンスによる資料収蔵も継続して進め、2カ年で1万点以上の資料を収蔵するデジタルアーカイブとなることを目指す。

資料収蔵の増加とあわせ、利用者の利便性を考えた Web 改修、デザイン改修を進め、閲覧者数を増加させることを目標とする。

2. 事業計画

(1) 法人化の準備

引き続き一般社団を目指し必要な内部規定の整備等、事務局体制の整備を進める。

(2) 会員向けサービスの強化

国交省所轄の財団からの支援、及び、役務提供により業務体制の整備、事業費の確保を実現する。それにより DAAS の主な活動である資料収蔵、Web 機能の改善へ注力し、サービスの提供、コンテンツの充実に努め会員の増加を図る。

(3) 基本システムの運営・管理

DAASが運営するWebサイト(<https://www.daas.jp/>)およびデータ収蔵サーバ(データベースおよびファイルの格納を行う)は、設立当初より慶應義塾大学へ機器の管理と運用を一任している。第四期も引き続き、機器設置場所の提供やインターネットへの接続性の確保の他、定期的なデータバックアップと、使用するソフトウェアのバージョンアップの他、DAASが独自に開発したソフトウェアの不具合の修正などを実施していく。また、収蔵しているデータや関連資料に関して、表彰作品の収蔵による建築資料の増加、設備・環境に関する項目がデータとして追加されるなど、データおよび関連資料の多様化が進むことから、基本システムの運営方法(関連資料やデータの維持管理)をより分散化できるよう見直し、資料提供者や資料管理者がより積極的に関わられるようにする。これに合わせて、収蔵資料が著しく増加することが見込まれていることから、第五期に向け、データ収蔵サーバの更新についても検討を進めたい。

(4) コンテンツの整備

第3期から継続した表彰建築作品の収蔵を進める。また、各アーカイブの状況確認、ヒアリングなどを行い、アライアンスの呼びかけを行うとともに、デジタル化保存が必要な場合は、積極的にデジタル収蔵の提案をし、DAASの周知に努め、活動の範囲を広げる。

① 写真家及び出版社への資料収蔵協力

第3期に行った表彰作品資料収蔵依頼について、エスエス東京、新建築社については、具体的な作業方法の検討を進め、第4期、資料のデジタル化を完了する。また大手写真家事務所、個人写真家、及び他出版社についても同様に表彰資料収蔵の依頼をするとともに、表彰作品に限らず、価値ある建築資料についてはデジタル化及び収蔵についての提案を行う。

② 動画収録

第3期に計画した内田祥哉氏の収録を実施する。第4期はあらたに、部会より推薦者、インタビュー、企画を進め、2名の動画の収録を進める。また、各種企画の実施状況を動画で撮影し、ウェブに掲載する。

③ 建築史家等による収蔵作品の解説等の掲載

第2期に開始した若手建築史家等による収蔵作品等の解説記事の掲載について第4期に実施されるWebサイトのリニューアルと合わせて、本企画を根本的に見直し、持続可能な運用方法の検討を進める。収蔵作品の建築当時を知る建築史家、建築雑誌の編集者等に対するインタビューを実施し、その記録を収蔵、掲載する。

④ 第4回デジタル卒業設計大賞の実施。

第4期においても、第4回のデジタル卒業設計大賞を実施する。参加者への告知方法及びスポンサーの確保等について検討する。

⑤ 国土交通省補助事業の活用によるコンテンツ整備

会員団体の表彰建築作品のうち、昨年度事業でデータ整理とリスト化が終了している約1700点について、設計者、設計事務所、写真家、施主等に対して、諸元データの提供、公開の許諾、現物資料(プリント写真、設計原図、ポジ・ネガなどのフィルム等)の提供依頼を行う。提供された現物資料はDAASがデジタル化を行うと共に、経年変化の著しいものについてはさらに補正を行った上で、権利者とDAASで成果データを共有する。

その際、権利者との間で、高解像度の画像データはDAASのデータサーバと権利者自身が保全を行い、低解像度の画像データはDAASのWebサイトで公開することを前提とした権利関係の処理を進める。あわせて、画像データに関する属性情報(撮影者、撮影年月日、撮影対象等)を整理し、ユーザーが利用しやすいキーワードを付与することで、検索機能の強化を進める。

また、資料保全の一環として、提供依頼の過程で、権利者自身による保存が困難な現物資料の提供申し出があれば、内容を精査した上で、DAASでデジタル化収蔵を行うと共に、アライアンスを組む金沢工業大学建築アーカイヴス研究所への収蔵を紹介するなど、現物資料の受入も行えるようにする。(添付資料6-1)

⑥ 住宅団地・まちなみ等に関するコンテンツ整備

昨年度作成したリストに沿って、住宅団地・まちなみ等のデータ収集と公開についての方針を検討するとともに、今後収集すべき資料のリスト化を進める。

⑦ 金沢工業大学建築アーカイヴス研究所とのアライアンス(デジタル化収集と資料公開)

金沢工業大学(KIT)で現物資料保存しているものについて、DAASでのデジタル化、及び資料公開について了承を得ている。本年度はデジタル化作業の方針、資料の優先度を検討し、写真だけでなく、スケッチ、図面等のデジタル化保全を進める。また、関係者との権利調整を行いながら DAAS Web にて公開を行う。

(5) Web サイトの改善

Web サイト全体の刷新を継続して実施する。DAAS の活動方針がよりオープンかつ多様化していることを踏まえ、第3期より実施してきた刷新作業を継続し、システムを含む全体のリニューアルを実施する。具体的には、「検索のしやすさ」「資料の見やすさ」「管理のしやすさ」の3つを目標に掲げ、DAAS が収集するデータと資料がより簡便に利用できるよう、デザインおよび機能の両面で刷新作業を進める。

(6) DAAS の広報・実空間展示等の企画立案

各団体の全国大会での展示、デモンストレーション、会誌等への DAAS 活動の掲載の依頼を行う。

(7) その他

その他、DAASの目的に資する活動を実施する。

〈添付資料6－1〉

2009 年 10 月吉日

〇〇会社 御中 〇〇 〇〇 様

社団法人 日本建築学会 会長 伊藤 滋
社団法人 日本建築家協会 会長 出江 寛
社団法人 日本建築士会連合会 会長 藤本 昌也
社団法人 日本建築事務所協会連合会 会長 三栖 邦博
社団法人 建築業協会 会長 山内 隆司
建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム 理事長 槇 文彦

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私ども「建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）」は、優れた建築文化を継承・発展させるため、会員団体が実施している顕彰事業で受賞した作品を建築アーカイブに収蔵すると共に、関係者の許諾に基づいてインターネット上で公開する事業を進めております。

本事業を推進するため、受賞作品の設計者様に「建物基本データ」（建物諸元）のご確認と、関連資料（写真、図面、スケッチ等）の収集に関する情報提供のご協力をお願いしております。

つきましては、同封いたしました書類の内容をご確認いただくと共に、下記の通り、情報収集にご協力をお願い申し上げます。

敬具

記

添付書類

1. 建築・空間デジタルアーカイブスとは？
2. 建築基本データ
3. 建物オーナー、写真家連絡先
4. 建物オーナー様向け協力依頼書
5. 写真家様向け協力依頼書

返信方法

「建築基本データ」は、会員団体より収集した作品リストに基づいて作成したものです。こちらの内容をご確認いただき、訂正する点が御座いましたら、隣の欄にその内容をご記入ください。

「建物オーナー、写真家連絡先」は、関連資料（写真・図面・スケッチなどの資料）に関して、写真家などの著作者様や建物のお施主様に対しまして、DAAS 事務局より詳しい事業の内容をご連絡させていただき、許諾の確認を実施するために必要となります。「建物オーナー様向け協力依頼書」および「写真家向け協力依頼書」も併せてご確認いただき、ご存じの範囲で結構ですので、ご記入いただければ幸いです。

原図・プリント写真の現物保存について

設計原図やプリント写真、フィルムなどの保管場所がない、保管する組織がない等の理由で

破棄されてしまう事例が多くなっております。DAAS では、金沢工業大学建築アーカイヴス研究所と連携し、そのような現物資料の保全活動にも取り組んでおります。お預かりした資料は、DAAS がデジタル化と補正を行って保管・公開するとともに、現物を金沢工業大学が整理・保管いたします。そのような現物資料がございましたら DAAS までお問い合わせください。貴重な建築資産である資料を将来に残すアーカイブ活動にご協力ください。

なお、お預けいただく資料はこちらで精査させていただき、保全方法をご相談させていただくことがあります。予めご了承ください。

以上

【本件についてのお問い合わせ】

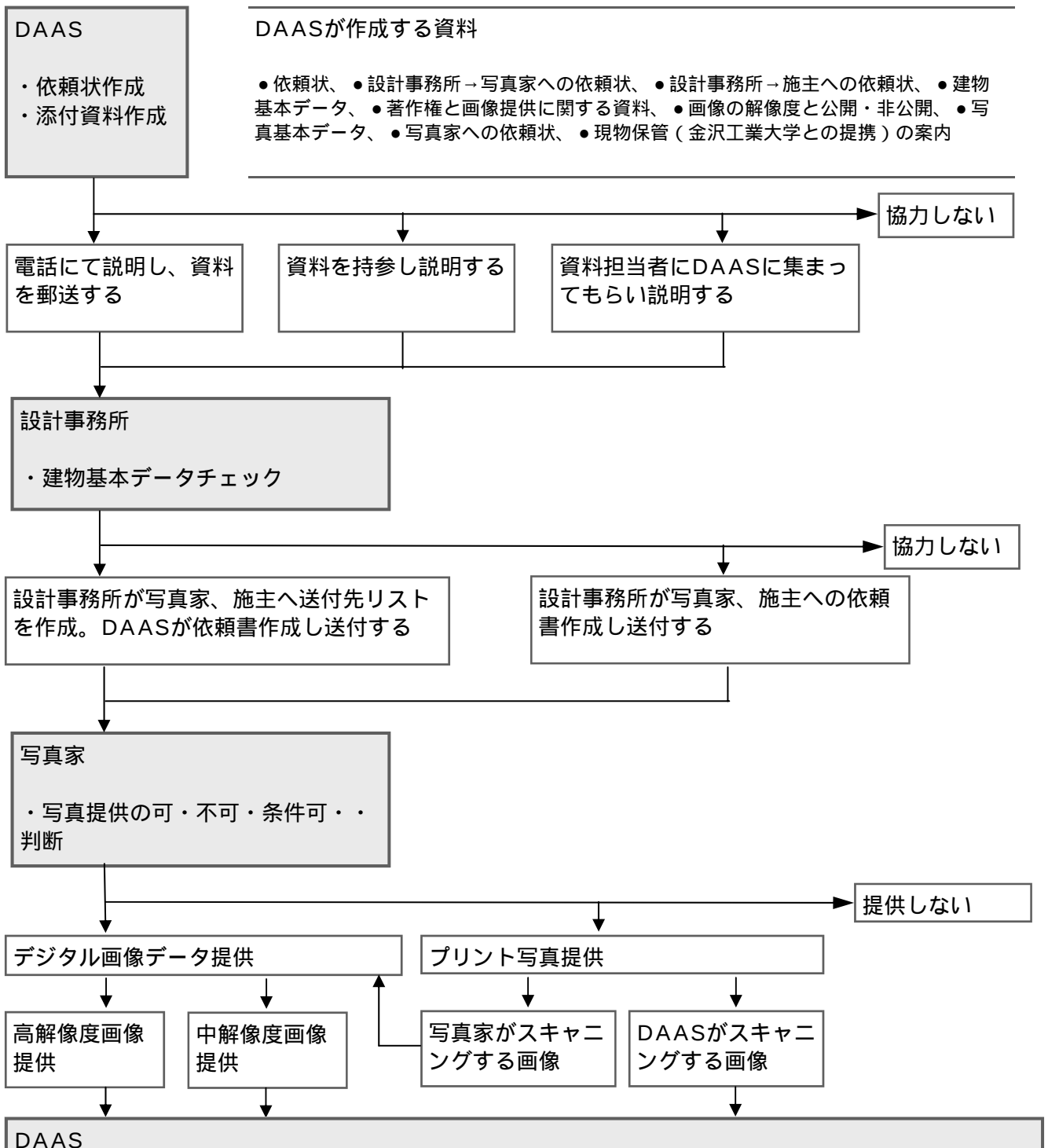
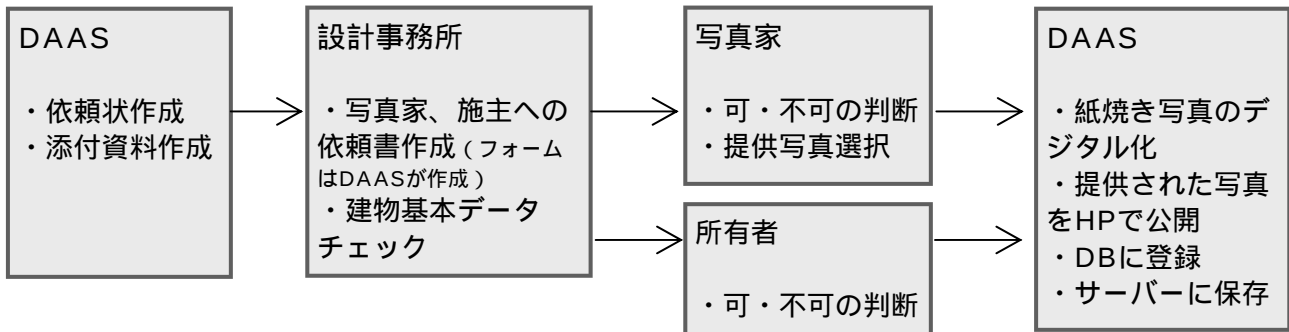
建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム事務局
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-14-36 FUJIMI WEST4F
Tel 03-5211-0568 Fax 03-5211-0548
E-mail info@daas.jp URL <http://www.daas.jp>

項目		内容	記入例	備考
表彰年／表彰名	1956年 BCS賞			
建物名称	国立屋内総合競技場			
建物オーナー名／資料送付先／電話番号／メールアドレス			独立行政法人日本スポーツ振興センター／160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘10-2/03-3403-1151	●お判りになる範囲でご記入ください。 ●他のシートで既に記入されている場合はオーナー名だけで結構です
写真家名／写真スタジオ名／資料送付先／電話番号／メールアドレス			村井修／スタジオ・ムライ／164-**** 東京都*****／03-****-****／****@****.jp	●お判りになる範囲でご記入ください。 ●他のシートで既に記入されている場合は写真家名だけで結構です。 ●写真家が「SS」又は「新建築」の場合は資料送付先、電話番号、メールアドレス
写真家名／写真スタジオ名／資料送付先／電話番号／メールアドレス			吉村行雄／300-**** 茨城県*****／090-****-****／****@****.jp	●お判りになる範囲でご記入ください。 ●他のシートで既に記入されている場合は写真家名だけで結構です。 ●写真家が「SS」又は「新建築」の場合は資料送付先、電話番号、メールアドレス
写真家名／写真スタジオ名／資料送付先／電話番号／メールアドレス				

建物基本データ			
項目	DAASのDBに記載されている内容	左の内容と異なる場合はご記入ください	備考
建物名 上記と異なる建物名 (通称、愛称、上記と異なる竣工時の名称等)	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館 管制塔 駒沢体育館		現在の建物名をご記入ください 検案のための名称です。通称、愛称、現状と異なる竣工時の名称等をご記入ください
建物名(英語表記)	Komazawa Olympic Gymnasium and Control Tower		
所在地(都道府県)	東京都		
所在地(市町村)	世田谷区駒澤公園1-1		
設計事務所名	芦原建築設計研究所		
設計事務所名(英語表記)	Yoshinobu Ashihara Architect & Associates		
設計者名	芦原義信		
設計者名(E)	Yoshinobu Ashihara		
施工者名	鹿島建設／藤田組		主の建設会社をご記入ください
敷地面積(m2)			
建築面積(m2)			
延床面積(m2)			
主要建物用途	スポーツ施設、ランドスケープ		建物用途は別紙「建物用途リスト」を参照下さい
建物概要	1964年、東京オリンピックの主要施設として建設された体育館と管制塔。体育館は大規模なHPシェル構造の屋根として日本で最初の建物。 鉄筋鉄骨コンクリート造		
構造種別			
構造概要			
設備概要			
その他			

表彰物件画像収集の流れ

基本の流れ



DAAS

- DBに登録、●解像度別画像作成、●HPにアップ、●提供されない写真への対応、●写真家への督促

プリント（紙）写真の場合

デジタル画像で提供された場合もスキャンング以外は類似の流れ

写真に整理番号を付け、画像DBに属性と共に登録する

画像の属性

- 建物名称、●撮影場所、●撮影年月、●撮影者名、●コメント

スキャンング（外注）

スキャンングされた画像をDBに登録する

非公開のHPに掲載し、設計者、写真家、所有者に連絡ししチェックを依頼。修正・掲載不可等の指示を待つ。

非公開HP掲載する目的は、了解を得る為でなく、掲載に問題があるときのみ意見をもらう。

修正

HPに掲載

写真家に元写真を返却する
画像データを、写真家に提供する
・スキャンングデータの著作権は_____に所属する

DAAS

写真家より画像の提供がなかった場合

他の写真家 / 提供者にあたる

DAASで撮影する

諦める

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム
第4期(2009-2010年度) 収支予算案
 2009年10月1日から 2010年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	
I 事業活動収支の部		
事業活動収入		
1 会費・入会金収入	13,970,000	
企業会員	8,940,000	
団体会員	5,000,000	
学術・教育機関会員	30,000	
個人会員	0	
2 事業収入	9,800,000	
記録作成業務受託収入	9,750,000	
コンテンツ有償利用料	50,000	
3 その他収入	0	
受取利息	0	
雑収入	0	
事業活動収入計	23,770,000	
事業活動支出		
1 事業費支出	21,950,000	
WEBサイト改修委託支出	3,000,000	
イベント事業支出	300,000	
コンテンツ整備事業支出	5,500,000	
記録作成事業	9,750,000	管理費(CBL委託)・臨時雇用人件費等含む
保守費支出	3,400,000	
2 管理費支出	5,100,000	
事務局委託費支出	600,000	
人件費	3,600,000	
旅費交通費支出	200,000	
機材費支出	100,000	
謝金	500,000	
会議費(含総会)支出	50,000	
租税公課支出	50,000	
事業活動支出計	27,050,000	
事業活動収支差額	▲ 3,280,000	
II 投資活動収支の部		
投資活動収入		
修繕引当預金取崩収入	3,400,000	
投資活動収入計	3,400,000	
投資活動支出		
修繕引当預金取得支出	1,700,000	
投資活動支出計	1,700,000	
投資活動収支差額	1,700,000	
III 財務活動収支の部		
財務活動収支差額		
IV 予備費支出		
予備費支出	3,150,572	
当期収支差額	▲ 4,730,572	
前期繰越収支差額	4,730,572	8/11現在 未払い予定300万あり。
次期繰越収支差額	0	

注)この予算書は消費税込みで計算しております

議案4 規約及び会費等規程の変更について

資料8 規約変更(案)及び会費等規程変更(案)

議案4 規約及び会費等規程の変更について

1. 規約変更(案)

(1) 規約第 47 条を以下の通り改める。

旧
第 8 章 事務局 (設置等) 第 47 条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。 2 事務局には、所要の職員を置く。 3 事務局職員は、理事長が任免する。 4 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。
新
第 8 章 事務局 (設置等) 第 47 条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。 2 事務局には、理事長が任免する事務局長を置く。 3 事務局には専任および臨時の職員を置くことができる。 4 事務局業務のうち必要に応じて一部あるいは全部を外部に委託することができる。 5 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

(改正提案趣旨)

(1) 事務局長の明文化

(2) 職員の区分(選任職員、委託等による臨時職員)の明文化

報 告

資料9 規約第7条第4項に基づく指定代表者の 変更について

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）
法人会員指定代表者変更

（建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム規約 第7条第4項 関係）

（敬称略）

■ 団体会員（選出必須会員）

社団法人日本建築学会

〈変更前〉 斎藤 公男（会長）

〈変更後〉 佐藤 滋（会長）

社団法人建築業協会

〈変更前〉 野村 哲也（会長）

〈変更後〉 山内 隆司（会長）

社団法人住宅生産団体連合会

〈変更前〉 和田 勇（会長）

〈変更後〉 樋口 武男（会長）

■ 企業会員（業種区分毎に1名以上選出）

【総合建設】

鹿島建設株式会社

〈変更前〉 尾崎 勝（執行役員 建築設計本部長）

〈変更後〉 尾崎 勝（常務執行役員 建築設計本部長）

大成建設株式会社

〈変更前〉 可児 才介（取締役専務）

〈変更後〉 野呂 一幸（常務・設計本部長）

株式会社大林組

〈変更前〉 小林 昭雄（執行役員 東京本社 設計本部長）

〈変更後〉 小林 昭雄（常務執行役員 東京本社 設計本部長）

【設 計】

株式会社山下設計

〈変更前〉 横山 孝治（代表取締役社長）

〈変更後〉 森 暢郎（代表取締役社長）

■学術・教育機関会員

【大 学】

慶應義塾大学

〈変更前〉 村井 純（常任理事）

〈変更後〉 村井 純（環境情報学部長 教授）

2009 年 10 月 1 日付